

家畜衛生だより

令和5年10月発行

中央家畜保健衛生所
村山地域家畜畜産物衛生指導協会
〒990-2161 山形市漆山 736 番地
TEL 023-686-4410
FAX 023-686-5715

下牧後の管理について

数か月間の放牧場生活を終え、いよいよ牛たちが牛舎に戻ってきます。放牧場から舎飼いへと生活環境が変化するため、牛たちは体調を崩しやすい状態です。下牧した牛をよく観察しましょう！



① 体調管理



- ・食欲はありますか？
- ・皮膚病(皮膚真菌症や牛乳頭腫等)はありませんか？
- ・四肢(蹄部等)に異状はありませんか？
- ・下痢や風邪症状はありませんか？

⇒異常が見られたらすぐに診察を受けましょう！

② 飼料給与

急激な飼料変更は鼓脹症や下痢の原因に！



⇒下牧後は粗飼料を主体にし、濃厚飼料は
2~3週間かけて徐々に増やしましょう！

③ 妊娠鑑定

妊否不明牛はいませんか？



⇒できるだけ早く妊娠鑑定を受けましょう！

裏面に続く

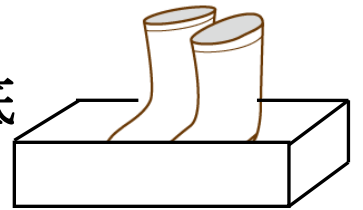


牛の下痢や風邪の流行期に入ります！

10月に入り、朝晩が寒くなってきました。1日の気温差があるこの時期は、特に下痢や風邪が発生しやすくなります。大切な牛を守るために、対策をしましょう！

農場に入れない！！

- ①必要のない者の立入制限
- ②踏込消毒槽の設置や車両消毒の徹底
- ③導入牛の隔離飼育



農場内で蔓延させない！！

- ①発症牛の早期発見！
- ②下痢便はすぐに片付けて消毒をしましょう。
- ③きれいな生活環境で病気やストレスを軽減しましょう。



ワクチン接種による予防

- ①症状の軽減
- ②発症牛から排出されるウイルスの低減
⇒同居牛への感染拡大低減

獣医さんにご相談を！！



下痢や風邪を起こす牛コロナウイルスは現在ワクチンがありません。農場に侵入させない対策を！！

飼養牛に異状が認められたら速やかにご連絡ください。

中央家畜保健衛生所（24時間対応）

023-686-4410 090-1840-0703